

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500915
事業所名	グループホームやすらぎの里梅森坂

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	<p>回覧板にも案内を載せ、ホーム主催の「認知症カフェ」が毎月開催されている。地域からの参加者はそれほど多くはないが、常連となったお客様は利用者や職員と馴染みの関係ができてきた。</p> <p>民生委員児童委員会の主催で行われている「給食会」には、毎回6~7名の利用者が参加している。</p>	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	<p>「会議」の堅苦しさを取り除こうと、運営推進会議を「梅森坂の集い」とネーミングし、毎奇数月に開催している。</p> <p>家族代表や地域包括支援センター職員、民生委員児童委員、知見者としての他ホーム管理者はほぼ皆勤の状態であり、ホームからの報告に加え活発な意見交換がある。</p>	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	<p>介護保険担当課とは綿密な連携を図っているが、生活保護受給者が5名利用することから、区の保護係とも良好な連携関係を保っている。</p> <p>報告書等の提出のため、毎月施設長が区の担当課に足を運んでおり、保護係の職員のホーム訪問も年に1~2回ある。</p>	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	<p>運営推進会議への出席やホーム訪問の機会を捉え、職員が家族の意見や要望を聞き取ってホーム運営に反映させている。</p> <p>「やすらぎ便り」が毎月発行され、ホームの取り組みや利用者の様子を家族に伝えている。「やすらぎ便り」は新聞系の職員が編集し、表面にはホームの活動の様子を載せ、裏面には利用者個々の写真(4枚)と看護や介護の記録等を載せている。</p>	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	<p>(例示)</p> <p>① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。</p> <p>② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。</p>

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎